

日曜晴天、少し汗ばむそんな休日ですが、疲れた頭と身体を整えるために甘いものを求め、銀座へ向かいました。今回は昨年、宇治に行った際に立ち寄ることが出来なかった『中村藤吉本店』の銀座店でお世話になりました。

すでに20人くらいの行列でしたが、ひとり最後尾に並びました。しばらくすると、外国人ファミリーのおばちゃんからお孫さんまでの6名が私の後に続き、次々と行列ができて、人気の高さを実感しました。どのくらい待ったか覚えはありませんが、順番が来ると落ち着いた店内奥のカウンター席に通されました。

今回のお目当ての『茶ごろも』はすでに完売でとても残念でしたが、『まるとパフェ[抹茶]』と『生茶ゼリイ[深翠]』をいただきました。いずれも甲乙つけ難いほど美味ですが、先にまるとパフェを食べたためか、その後の生茶ゼリイの美味しさが100%感じられなかったような気がしました。ですので、次は生茶ゼリイが先か茶ごろもが先かとすでに迷っています。いずれにせよピーターになるのは間違いないですね。

中村藤吉本店は、お茶・食べ物・店内の雰囲気・接客と個人的には最高満点でした。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

皆さんの中には『ブラックサンダー』というチョコレート菓子を食べたことがある方も多いのではないのでしょうか?今回はそのブラックサンダーを製造しているユーラク(有楽製菓)の工場直売所を紹介いたします。

ユーラクの工場が愛知県豊橋市にもあり、工場に隣接して『豊橋夢工場直営店』があります。ここでは定番はもちろん、期間限定や地域限定のブラックサンダーも購入することができます。この直営店では『豊橋ブラックサンダーミニパー』も購入することができます。また時期・状況によっては中止になっているケースもありますが、ブラックサンダーの詰め放題企画もあるようです。

店内はそれほど広くありませんが、ブラックサンダーだらけで、Tシャツなどのブラックサンダーグッズも販売しています。着るのに若干勇気が要りそうですが…。

また工場直営店は東京にもあり、2017年にリニューアルしたばかりで、いかにも工場の一角といった感じの豊橋の直営店よりおしゃれできれいな感じです。

皆さんもブラックサンダーをたくさん買いに直営店まで足を運ばれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

KOYORAD

世界の拠点から  
- From the base in the world -



北海道もようやく春を迎え、街行く人々の装いも明るい色となってきました。昨年の初夏に出かけたレストランにまた行きたくくなりました。それは世界のお茶を全国展開で販売しているルピシアがプロデュースするレストラン『ヴィラ ルピシア』です。こちらの社は東京、北海道ニセコの2拠点でニセコに唯一レストランを開業しています。今回はこちらを紹介致します。

ニセコと言えば羊蹄山を望む環境の中、野菜・乳製品の産地で、積丹半島では山の幸、海の幸をふんだんに手に入れる事ができます。食材本来の味を楽しむ場所で、ルピシアのお茶をより美味しく飲んでいただく為のレストランのようです。

前回私はランチを頂くべく、開店30分前に行きましたが既に15人目でした。ランチは¥2,600でメインにスープ・パン・サラダに加え、ルピシアのお茶が3種類飲み放題となり、お得感があります。レストランの向かいにはルピシアショップもあり、数十種類のお茶の販売とテイクアウト用お弁当などが販売されています。外のテーブルでも楽しむことが出来るようになっていきますので皆様にもおすすめですよ。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

今年のゴールデンウィークは、久しぶりに規制の無い大型連休となりましたね。私は目的地までのドライブの時間も楽しみたいので、片道2~3時間程度で行ける所を、と思い、以前にも訪れたことのある鳥取砂丘横の『砂の美術館』に行きました。

コロナ禍前は年に1度、テーマが変わるたびに訪れていましたが、今回は4年ぶりの来館。現在の展示テーマは『エジプト』。このテーマは砂像など砂の作品がよりリアルになると思い、行ってみたいとなりました。

展示場に入館するとルクソール神殿があり、サイズは違うものの細部までリアルな造りで圧倒されます。建造物だけでなくカイロやアレクサンドリアの風景なども砂像で再現。壁画やタイルなども、経年変化のヒビまで作り込まれておりこちらもリアルです。一番奥のアブシンベル大神殿は圧巻で、現物通り1体だけ上半身が欠けた様子も再現。見応えがありました。

お土産コーナーではクレオパトラが美容の為に食していたデザートも販売されておりました。あと半年で壊すにはもったいない展示内容でしたよ。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

先日、TVアニメで一世を風靡した『新世紀エヴァンゲリオン』の大博覧会がJR博多駅で開催されているとのことで、用事ついでに行ってきました。

会場はJR博多シティ9階にあるJRシティホールです。中に入ると私でも知っているキャラクター達がお出迎えです。展示コーナーにはテレビで何度も見たことのあるエヴァンゲリオンが展示されており、迫力満点です。エヴァンゲリオン好きの方々にはたまらないものではないのでしょうか。展示コーナーも、フィギュア、アパレル、イベント、企業コラボなどなど、展示数はなんと4000点。もうびっくりです(笑)。特に興味を引いたのが企業とのコラボレーションで、缶ジュースのイラストから、有名なお酒、エヴァンゲリオンのようにカラーリングされたバイクなど、宣伝効果が高く、未だに人気のあるTVアニメだと改めて実感しました。

約1時間程度、内容が分からないまま展示物を見て回りましたが、空き時間を過ごすには十分に楽しめました。後学のために知らない世界に飛び込むことも大事なだと、改めて思った一日でした。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)



5月の中頃、家内の親戚が集まる行事がありました。予想では参加者は多くても20~30人で、会場を自分の家にして何とかなと思っていました。しかしコロナウイルスで3年ぐらいほとんどの親戚に会っていなかったため、参加者の確認を行ったところ、なんと140人以上から参加の回答をもらいました。これでは家に入りきれないため、急いで場所を探し、中央ジャカルタにあるレストランを見つけて安心しました。

家内のお爺さんには子供が10人もいましたが、現在は皆亡くなっており、集まったのはお爺さんの孫とひ孫、ひ孫の子(玄孫)でした。参加者の中にはジャカルタ付近だけではなく、バンドン(ジャカルタから約200km)、カリマンタン(ジャカルタから飛行機で2時間)から来ている人や5年以上も会っていない親戚もいました。皆で食事をして家族の紹介をしたり、昔の写真を見たり、歌や簡単な景品の出るゲームで遊んだり、とても楽しい4時間でした。

こういった140人以上の集まりは、次いつになるかわかりません。行事の終わりには楽しかった気持ちの中にある少しさみしい気持ちを隠せなかったです。元気に長生きして何年後かに、「また今日みたいどこかで会いましょう!」と言いました。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

~初夏の風物詩です~

寒さが和らぎ、春の心地よい日差しが降り注ぐ4月、5月。ところが蘇州の春は実はとても短く、あっという間に暑くなってしまいます。ラチエーター産業にとって夏は繁忙期。今年もホットな夏になって欲しいと願う一方、蘇州の夏は名古屋の夏に比べてさらに蒸し暑い感じ。30度を超える日が間もなくやってきますが、つかの間の春、この季節にフルーツ店の主役になるのが『枇杷』です。

蘇州附近は枇杷の産地として有名で、ピンポン玉ほどの大きさに黄色く色づいた甘酸っぱいジューシーな果肉は初夏の風物詩です。この時期、枇杷の産地を車で走ると道端には取れたての枇杷がかごいっぱい盛られて即席の露店に並びます。ひとかごに30~40個ほど入って400円くらいです。地元産はやはりお値打ちです。

日本では時々見かける程度ですが、蘇州では非常に身近な果物です。調べてみると日本で栽培されている枇杷も古くは中国が原産だったもののようです。冷蔵庫でひんやり冷やして食べると最高です。高血圧の予防をはじめ、がん予防やアンチエイジングにも効果があるといわれます。さらにβカロテンやポリフェノールなど体に良いものがたくさん入っているようです。

アンチエイジングと知り、今年も枇杷を食べて夏バテ防止と若返りを目指したいと思います。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

日本は桜の季節も終わり初夏の過ごしやすい季節を迎えている頃でしょうか?ここカリフォルニアはようやく長かった(?)雨季が終わり、最近ではカリフォルニア州らしい良い天候が続いています。ジャカランダの花も満開を迎え、紫に色づいて美しい光景が見られます。

さてWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)が終わりましたが、大リーグで活躍する選手(特に大谷)の日本での報道は相変わらず盛り上がり、毎日報道されていますね!早速私も本拠地エンジェルススタジアムのホームオープニング試合を観戦に行ってきました。ブルージェイズとの3連戦でしたが2日目と3日目連チャンで行きました。2日間続けて行った理由は勿論大谷選手を目の前で見ること、ブルージェイズの菊池雄星投手との花巻東高校出身対決を見る事ですが、それ以外にも球場で配られる大谷関連グッズを入手することがありました。因みに土曜日は

大谷選手のポブルヘッド人形で日曜日は大谷選手のクリアバッグでした。

混雑を予想して試合開始2時間前には球場入りしましたが、その時には既に沢山の人が列に並んでいる状態でした。そこで感じた事は昨年以上に大谷ファンが増加している事です。アメリカに住む日本人や日本から応援に来るファンも多いですが、昨年以上に現地の方々が大谷のユニフォームやTシャツを着て応援に来ていました。中にはWBCの侍ジャパンのユニフォームを着ている外人の人たちもいました。勿論トラウト選手も不動の人気がありますが、私が観た2連戦では圧倒的に大谷ファンが多かった印象です。

2日目の菊池VS大谷の対戦では技ありのホームランで決着ありでしたが、試合の方は相変わらずエンジェルスのリリーフ陣が打たれ、延長の末にブルージェイズの勝利となりました。隣で観ていた現地のファンもリリーフ陣にもっと投資すべきだと嘆いていました。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

Instagramグルメの時代。Instagramは食品業界における強力なプロモーションツールです。食べ物がおいしそうに盛り付けられていると、Instagramマーが写真を撮って、頼まれなくてもInstagramにアップロードし宣伝してくれます。そして私はそんなInstagramの被害者の一人だと言わなければなりません。

ブrounヌードルと呼ばれるエビのラーメンは、チキンライスと同様にシンガポールで非常に人気があります。最近、有名レストランで働いていたシェフがブrounヌードルのお店をオープンしました。場所は街角にあり、コーヒーショップのような外観でエアコンのないオープンなコンセプトです。

週末の朝9:30頃に到着し、すぐに席に着いて注文しました。正直なところ、私は食べ物の価格にショックを受けました。大きなエビが入ったヌードルは1人前22シンガポールドル(日本円で約2300円)で、最も有名な店の13シンガポールドルよりも高価です。味はごく普通のブrounヌードルで、これといって特徴はありません。もちろん提供される料理を気に入っている方もいらっしゃいますし、行列に並んでいるお客さんも見かけます。

しかし私にとっては期待しているものではありませんでした。この場所を訪れるのはこれが最初で最後でしょう。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

昨年、運転中に携帯電話を使用したとして18万人近くのドライバーが罰金を科されました。これは、2021年の約14万人に比べて急激な増加です。車、スクーター、自転車のいずれに乗っている場合でも、運転中は携帯電話を使用しないでください。特にメッセージアプリなどは気を散らすことになり、交通事故へとつながります。

運転中に携帯電話を使用する者には、380ユーロ(日本円で約56,000円)、自転車の場合には150ユーロ(日本円で約22,000円の罰金)がそれぞれ科せられます。

罰金者数の増加は、主に『MONO-cam』といわれるカメラの増加によるものです。このカメラは、高架橋から携帯電話を手に持っているドライバーを自動的に追跡することができます。さらに、警察は路上で目立たない場所をチェックしており、誰が車から電話をかけているかを簡単に確認できます。

最近の車にはカープレイシステムが搭載されており、電話をかけたり、メッセージを送信したりする場合、音声だけで行うことができます。または、ハンズフリー通話を可能にするカーキットをインストールします。自分をコントロールするのが苦手な人のために、モノモードも存在します。

ドイツでは、運転中の携帯電話の扱い方が異なります。違反点制度があり、違反すると罰金のほかに違反点数が加算されます。さらに繰り返すと、免許停止・取消になります。

オランダでは、もはや安全ではなく、純粋にお金の問題という印象を受けます。馬鹿げたほど高い罰金が科せられ、それ以上の影響はありません。高額な罰金を科されているにもかかわらず、未だに多くの人があらゆるリスクを負ってその電話に執着していることに驚いています。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)